

- ② 複合施設の基本設計決まる
- ③ 障害福祉サービスを充実
- ④-⑤ **特集**
毛利台小学校のインクルーシブ教育
垣根のない学校
- ⑥-⑧ 街の話題/コラム/お知らせ



チョコレートを固めた後、店頭で並べる



作業場から店内の様子が見える



誰でも分かるように作られた工程表



職員のサポートを受けながら作業を進める宮本さん（左）

皆で支え合う

色とりどりに包装されたチョコレートが並び、甘い香りがほんのり漂う店内から、ガラス越しに商品を作る人の姿が見えます。真剣なまなざしで、乾燥させた果物一つ一つにチョコレートをつけるのは、宮本仁志さん（29・愛甲東）。オープン当初から、福祉施設が営むこの菓子店で働いています。

「普段は口数が多くないけれど、オープンした時に作業場から見える店内を見て『お客さん多いね』とうれしそうに話してくれたんです」。作業に寄り添う所長の原崎知之さん（43）は、頬を緩めます。

店舗には、障害のある方6人が通い、日々菓子作りに励んでいます。苦手なことを補えるよう、工程表には写真を付けて平仮名で書くなど、少しでも働きやすくするための工夫が凝らされています。

12月3～9日は障害者週間です。誰もが暮らしやすい社会をつくるため、一人一人に何ができるのか考えてみませんか。

《3～5面に関連記事》
障がい福祉課 ☎25-2221

12月3～9日は「障害者週間」

障害への関心や理解を深め、障害のある方のさまざまな活動参加を促進する週間です。

■私たちにできることは？

障害の状況により必要とする支援の内容が異なります。手伝えることがないか声を掛け、相手の意思を尊重した適切なサポートをすることが大切です。

障がい福祉課 ☎25-2221

障がい者雇用奨励交付金で就労サポート

障害のある方の雇用の安定と促進のため、市内中小企業に補助金を交付しています。

産業振興課 ☎25-2585